

彦根中央 リハビリぽすと

平成 28 年 2 号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

受付から

医院名称変更のお知らせ

このたび『山田クリニック』は昨夏に山田恭造先生が他界されましたことから患者様の利便性に鑑み、下記の通り『彦根中央リハビリテーションクリニック』と名称を変更する事といたしましたのでお知らせいたします。

何卒、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

旧名称：医療法人 恭昭会 山田クリニック

新名称：医療法人 恭昭会 彦根中央リハビリテーションクリニック

変更日：平成 28 年 2 月 1 日

健康コラム

おたふくかぜ

「おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)」の患者が増えていると、4年半ぶりに全国的な流行の兆しを見せていると、国立感染症研究所が1月19日に発表した感染症発生動向で明らかになりました。同研究所は手洗いやワクチンの接種など、対策の徹底を呼びかけており、毎日新聞は次のように伝えた。おたふくかぜはムンプスウイルスに感染することで発症、潜伏期間が2~3週間と長く、耳やあごの下が腫れて熱が出る。通常は2週間以内に自然に治るが、髄膜炎を併発したり、1000人に1人程度の割合で難聴になったりする場合もある。近年は4~5年周期で流行しているが、周期の理由ははっきりしないという。(おたふくかぜ:流行の兆し…夏に向け増加「予防を」- 毎日新聞 2016/01/25)

特効薬はなく、安静にして腫れた部分に冷湿布を当て、柔らかい食事を与え、うがいをたびたび行って口中を清潔にしておけば、1週間くらいで熱や腫れが引いて治癒する。まれにウイルスが頭部に移行して脳炎や髄膜炎をおこすと、頭痛、嘔吐(おうと)、意識混濁、けいれんなどの症状を呈する。また、成人が罹患(りかん)した場合には精巣炎や卵巣炎をおこすことがあり、両側の精巣が侵されると男性不妊症の原因となることがある。予防としては、発熱の初期から解熱後1週間までは飛沫(ひまつ)感染の危険があり、耳下腺の腫れが完全に消失するまでは幼稚園や学校を休ませる。

とびくす

初午(はつうま)

2月最初の午(うま)の日(2016年は2月6日)。

本来は、農作業が始まる旧暦の2月に行われていました。711年(和銅4年・奈良時代)のこの日に、稲荷社の本社である京都の伏見稲荷大社に稲荷大神が鎮座されたといわれています。この日をしるのび、伏見稲荷大社をはじめ、愛知の豊川稲荷や佐賀の祐徳稲荷神社など、全国の稲荷神社で盛大にお祭り(初午大祭)が行われます。また、立春を迎える2月の最初の午の日は、一年のうちで最も運氣の高まる日とされています。

診察医のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	山崎	吉田	×	吉田	吉田
午後	吉田	山崎	×	×	吉田	×

午前診察 9:00~12:00 休診日:日曜・祭日

午後診察 4:30~6:30

ご連絡

上記にお知らせしましたとおり、2月より当院の名称が変わります。併せて、広報誌の名称も変更させていただきました。ホームページの内容も早急に改めさせていただきます。

